「学校だより」　　２０２４年　１０月号

新沢っこ

橿原市立新沢小学校
電話　２７－４１６３

朝夕めっきり涼しくなりました。いつの間にやら衣替えの季節となってきたものの、まだ日中は熱中症対策も意識しておかなければならいないと思っています。昔から「季節の変わり目は風邪を引きやすいので注意しましょう。」とよく言われているように、先週は子どもたちの欠席が目立ちました。体が気温の変化に対応できず、体調をくずしてしまいがちになるのもこの季節の特徴です。規則正しい生活（特に睡眠はしっかりとって）、三食の食事をきっちり食べて免疫力を高めることや、手洗い・うがいをすることが、風邪、コロナやインフルエンザの予防や、日々健康な体で生活できることにつながります。

学校生活だけではなく、放課後の運動場開放で元気な子どもたちの姿を見ていると自然と微笑んでしまいます。

～世代間交流事業『ふれあいin新沢』へ～

１０月１日（火）は月初めで、全校朝会を行いました。最初にみんなで校歌を歌います。それから校長先生の話へと続きます…。

この時は『ふれあい in 新沢』について、子どもたちに話をしました。昨年５月までコロナ禍であったこともあり、「『ふれあい in 新沢』って知ってる？」ときくと、約半数の子どもたちが知っていました。

この日の朝会には、１８回目を迎える『ふれあい in 新沢』に長年たずさわってくださっている吉住さんに来ていただき、全校のみんなに話をしていただきました。●『ふれあい in 新沢』は、地域のみなさんが手作りでこれまでしてきた事業●〈食のおもてなし〉として来場者においしい食べ物の提供●こども園園児、小学生～年配の方の作品の展示●舞台発表（リトルグランの演劇など）●ビンゴ大会●夜、たくさんのろうそくを灯す、〈ろうそくアート〉●新沢の歌も作られた…などの話をしてくださいました。この新沢オリジナルのこの事業を聞いて、子どもたちから「行ってみたい！」という声がたくさんでました。

子どもたちには、新沢地域で育つ中で、こうしたことも経験しながら、地域や学校を好きになってくれたらと願っています。

『かしはら校外塾』体験教室

以前からお伝えしてきましたが、毎週土曜日９時～１２時に新沢校区の〈シルクの杜（もり）〉において、以前、橿原市で校長先生・園長先生をされていたみなさんが、市内の小中学生を対象に『かしはら校外塾（こうがいじゅく）』をしてくださっています。土曜日のその時間にシルクの杜の学習室に行くと、小中学校の子どもたちが、各自が持ってきた宿題や問題集に一生懸命に取り組んでいます。その傍（そば）には、先生方（新沢小学校で校長先生をされたいた先生もおられます）がそっと寄り添い、必要な時に「これはね…」という感じで丁寧に学習の支援をしてくださっています。

参加している人は、自分に合った時刻に来て、帰っています。

新沢小学校コミュニティスクールでは、この『かしはら校外塾』の体験教室を実施しようと計画しています。詳細については、後日お知らせさせていただきますが、幸いなことに、シルクの杜が校区内にあることから、参加したい人は、子どもたちがよく遊びに行く〈新沢ふれあいの里〉にある〈龍の公園〉で集合し、各自が持ってきた学習教材で約一時間学習する予定でいます。先で『かしはら校外塾』で学習する人たちが増えると学習に向き合う姿勢も向上していくことに繋がると考えています。

自分の命は自分で守る

昔から「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」とよく言われてきました。釣瓶（つるべ）とは最近ほとんど見なくなりましたが、井戸から水をくみ上げるために吊した桶のことです。秋はお彼岸を過ぎたあたりから、急に日の暮れるのを早くなっていくことを、井戸の釣瓶（つるべ）が落ちる速さにたとえて表現しています。

７時を過ぎてもまだ外が明るかった真夏に比べて、この頃夕方６時を過ぎるとずいぶんと暗くなってきました。ちょうどこの時間帯は車を運転している人からしても、一番見にくい時間帯です。交通量が多いこの時間帯は、歩いていても自転車に乗っていてもたいへん危険な時間帯と言えるでしょう。

また下校途中で道草をして帰りが遅くなったり、おうちに帰ってから行き先も言わず遊びに出かけ、帰りが遅くなってしまうとおうちの人やまわりの人にたいへん心配をかけてしまうことになります。

まず、自分の命は自分で守ることが大切です。各ご家庭においてもしっかり話し合い、約束事を守り、安全なくらしを心がけていただきますようお願いいたします。